

野川台自治会

あいさつ運動の輪

発行：野川台自治会

発行者：野川台自治会長

川崎市宮前区野川

編集：あいさつ・防犯運動事務局

「神奈川県安全・安心まちづくりパイロット事業補助対象事業」に選ばれたことをバネに地域ぐるみであいさつ運動を進めるため、学校とPTAと子どもたちから、あいさつ運動の思いを寄せていただいたものです。

● 学校と地域が一緒になってあいさつ運動を！

野川台自治会長 青木 利治

昨年、児童の声を発端に始まりましたあいさつ運動は、校門での「朝のあいさつ運動」と「パトロールを通じたあいさつ兼防犯活動」を学校と地域とが協力し合いセットで実施するところまで進んでまいりました。これも皆様のご理解とご協力の賜と感謝申し上げます。

あいさつは、不思議な力を持つと運動を通じて感じています。人と人との心をつなげ、また犯罪の予防にもつながることなどから、これからの地域づくりに向けてのひとつの大きな手法になるように思えます。

あいさつを通じて、顔見知りになり、自然と「おはよう」、「こんにちは」と声を掛け合ったり、さらには「どうしたの、元気がないね!」と気遣ったり、注意したりする間柄になっていきます。こどもの健やかな成長はもとより犯罪のない安全で安心なまちづくりに、将来つながっていくと受け止めています。

先般こうした私たちの活動を神奈川県募集に応え提案したところ、平成20年度の「県安全・安心まちづくりパイロット事業」に選ばれました。少しずつ浸透してきた運動を、これを契機にさらに西野川小学校と野川中学校と野川台自治会の三者が連携し合うとともに宮前警察署、宮前区役所、地区社協、地区民児協などの協力を得て、公民一体となったあいさつ運動兼防犯活動を進めていきたいと思ひます。みなさまの無理のない形での運動への参加を期待しております。

● 「おはよう」は出会いの一步、学びの一步

西野川小学校長 榎本 重次

は る

はるの	はな	おはよう
さいた		おはよう
あさの	ひかり	みんな
きりり		ともだち
		いちねんせい

この詩は、1年生の国語教科書の最初に掲載されてい

るものです。1年生から4年生は、この詩で国語が始まりました。5・6年生が1年生のときの国語の教科書も「おはよう」という言葉で始まっています。西野川小学校の子どもたちの学びの第一歩は、「おはよう」なのです。

「おはようは、人に働きかける言葉、人と人をつなぐ言葉（教科書「編集の趣旨」より）です。だから1年生の学習の初めにふさわしい言葉なのです。「おはよう」と言えば、「おはよう」と返ってくる。そんな家庭、そんな学校、そんな地域でありたいものですね。



西野川小学校の朝のあいさつ運動

● 「おはよう、こんにちは、そしてさようなら」

野川中学校長 今井 勇

日頃より、あいさつ運動をはじめ生徒を地域で見守りいただきまして誠にありがとうございます。心より感謝申し上げます。お陰様で少しずつではありますが、生徒が挨拶を返すようになってきました。また中には自分から「おはようございます」と挨拶を進んでするようになった生徒も増え、下を向いて校門を通る生徒が減ってきました。いろいろな悩みを抱える多感なときですが校門を通る時は健気に元気よく通っていきます。朝の「おはようございます」から始まり、廊下ですれ違う時は「こんにちは」、帰る時は「さようなら」と元気のよい声が聞こえてきます。

あいさつ運動により、地域の方々から見守られているという意識が生徒に芽生え、これからも地域の中での自分探しをしていくのではないのでしょうか。地域の中で、元気よく生徒が進んであいさつできるようになってほしいと思う今日この頃です。